

令和6年2月14日

令和5年度 第3回学校運営協議会

- 1 授業参観 5時間目（13：45～14：35）の授業を参観いたします。
- 2 開会の言葉
- 3 校長あいさつ
- 4 協 議
 - (1) 本日参観いただいた授業について質問等
 - (2) 学校評価について
 - (3) 熟議・意見交換、懇談
 - (4) その他
- 4 学校関係者評価について 別紙
- 5 連 絡
 - 次回の学校運営協議会日程
 - 第4回 令和6年3月29日（金） 午後3時30分から
- 6 閉会の言葉

学年末テストに向けて…

今回の学年末テストは、**地理分野の北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州**と**歴史分野の武士の政権の成立**が範囲です。つまり、地理と歴史の2つの分野にまたがって出題されるということです。また、地理分野の学習が終わってから日が経っていることもあり、内容がうる覚えになっている箇所もあるかもしれません。まずはしっかりと学習した内容を思い出す必要があります。

そこで教科書・資料集だけでなく、授業中のノートと授業用資料の見直しをすることでから始めましょう。OneDriveにはこれまでの毎単元の小テストの答えだけでなく、授業で使用している毎時間の資料も保存してあります。ぜひ活用して復習に取り組み、授業で学習した内容を思い出しましょう！

次に**提出物の範囲を終わらせる・小テストを完璧**にすることです。やるべきことをやらないでテストに臨めば、当然点数は伸びません。ワークの答えをただ写して提出したとしても、それは何の勉強にもなっていません。ワークを終わらせることが目的ではなく、あくまでもワークは手段であり、目的は学習内容の定着です。

第三は**問題と答えをセット**で覚える学習です。すなわち、**出題方法が変わっても対応できる力をつける**ということです。社会科はよく暗記科目という言葉方をしますが、確かに覚えたか・忘れてしまったかで答えられるかどうかが変わる問題もあります。しかし、それはどの教科でも同じことです。令和4年度入試から出題方針が「**基礎的な知識及び技能をみる問題**とともに、**知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力をみる問題の出題に配慮する**」とされ、**知識・技能を活用して課題を解決するために必要な**という文言が加えられました。問題文には必ず解くための**キーワード**が含まれています。そのキーワードに気づくためには、**反復学習**をするということです。

以下は再掲です。ぜひ参考にしてテスト勉強に臨んで下さい。

アンケートの中からいくつか赤学年の生徒が実際に行っている勉強方法をご紹介します。

- ・教科書にマーカーで線を引き、その部分を自分で問題にしてみる。
 - ・色々なワークをやって、問題の出され方が変わっても答えられるようにする。
 - ・資料集、教科書を隣に並べ、問題と照らし合わせながらワークを解く。
 - ・日頃の授業である程度身につけ、小テストは意味や場所まで覚えることです！
 - ・教科書や資料集を用いたり、小テストを繰り返し解いた。
 - ・ワークを解くだけでなく、自分で問題を作ったり教科書の穴埋めをやったりして、違う視点から問題を解く。
 - ・今まで習ったことの大事なポイントを押さえつつ、ノートにまとめる。
 - ・入試問題が入っている問題集を少し解いた。
 - ・問題に対するキーワードを見つけると効率が良い。
 - ・単語帳を作り、バラして紙の上でつながりを書いていく方法。
 - ・ワークを3週目以降は記述問題とミスした問題のみを解く方法。
 - ・大きめの紙を用意して州ごとの授業で習ったことを関連づけて殴り書きしておく方法。
 - ・とりあえずワークを1周して、間違えた問題を一度行う。それでもダメならもう一回それでもダメなら…と繰り返す。
 - ・教科書の内容を紙にまとめたり、ワークで間違えた問題はすぐに教科書で調べるなどの方法で勉強した。
- ワーク・小テストの反復は多くの人がやっているようです。また、タブレット端末を活用して、自分で問題を作成している人もいました。各々工夫し、自分の勉強スタイルを見つけているみたいで嬉しいです。

第1学年4組 社会科学学習指導案

日 時 令和6年1月26日(金)第2校時

生徒数 38名

場 所 1年4組教室

指導者 教諭 奥山 真衣

1 単元名 武士の政権の成立 (第3章 中世の日本)

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校新学習指導要領歴史的分野の内容B「近代までの日本とアジア」の(2)「中世の日本」の小項目(ア)「武家政治の成立とユーラシアの交流」についてである。

鎌倉幕府の成立については、武士の台頭から武家政権の成立と支配といった、武家政治の成立の背景と推移を扱う。また、天皇や貴族の政治との違いという観点から、古代から中世への転換の様子について気付かせることが主なねらいである。そこで課題を「なぜ武士は政権を立て、社会を動かすほどの力を持つようになったのか。」とする。

(2) 生徒観 (生徒の実態)

本学級は、積極的に挙手をして発言するなど、意欲的に授業に取り組む生徒が多い。しかし、学習の理解度は他クラスと比べると低く、クラスの中にも差がある。また、問題文の意図は読み取れるものの、それを自分の言葉でどのように表現すればよいのかが分からない生徒もいる。

(3) 指導観

単元を貫く課題を「なぜ武士は政権を立て、社会を動かすほどの力を持つようになったのか。」と設定し、学習を通して武士が台頭して武家政権が成立したこと、その特徴について「武士と貴族による政治の違い」という視点から、多面的・多角的に追究させる。生徒自身の言葉で表現させたい。

深い学びにつなげるために、本時の授業では「どのようにして承久の乱後、幕府は急速に支配を拡大できたのか。」という課題に対し、知識構成型ジグソー法の手法を参考にして、複数用意した資料を用いて課題解決を図らせる。視点を①御恩と奉公②承久の乱③武士の決まりの3点に絞り、本時の課題を捉えさせ、武家政治の支配拡大について考えを深めさせたい。特に、ジグソー法最終過程のクロストークにおいては、生徒に課題に対する考えを発表させ、自分自身の考えの変容や深まりを実感させる。

3 校内研修との関わり (学力向上プランとの関わり)

研究主題 「学校ICTを活用し、主体的に学習に取り組む生徒の育成」

- ①分かりやすい授業に …文字だけの情報ではなく画像などの資料を提示することで、視覚的に情報を享受でき、生徒の意欲向上につながるのではないか。
- ②コミュニケーションが活発に…ICT機器を操作・活用して他者にプレゼンすることで、生徒同士の対話が活発になるのではないか。
- ③学習の効率化 …クラウド上に資料を保存することで印刷が不要。また、生徒が必要に応じて資料を閲覧し、家庭学習にも取り組めるのではないか。

4 本時の学習指導 (本時 4/6時間)

(1) 目標

思考力、判断力、表現力等	A	B	C
学習課題について、資料の読み取りや協働的な学習を通して考察し、その過程や結果を適切に自分の言葉で表現している。	積極的に意見交換し、情報を共有している。共有した情報を自分の言葉で文章に表現している。	意見交換はしている。得た情報をもとに、それらをまとめ、自分の言葉で文章に表現できない。	意見交換が不十分。得た情報をもとに、それらをまとめ、自分の言葉で文章に表現できない。または無記入。

朝霞市小中学校 学校評価実施要綱

朝霞市教育委員会

(趣旨)

第1条 この要綱は、各小中学校における学校評価の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 学校評価は、次の目的のために実施する。

- (1) 各学校が、教育活動その他の学校運営について、その成果を検証することにより、組織的・継続的に改善を図る。
- (2) 各学校が、自己評価及び学校関係者評価を実施し、その結果の説明・公表により、保護者、地域住民から教育活動その他の学校運営に対する理解を得て、信頼される開かれた学校づくりを進める。
- (3) 市教育委員会が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の必要な措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図る。

(自己評価)

第3条 学校は学校運営の改善策を示すものとして、自己評価を行う。

- 2 児童・生徒、保護者等による評価は、自己評価を行う際の参考にする。

(評価項目)

第4条 市教委は、学校が行う自己評価について、市内共通項目を設定する。

- 2 学校は、市内共通項目に加えて、学校の実情に応じた評価項目を設定し、自己評価を行う。

(評価回数)

第5条 学校は、少なくとも年1回の自己評価を行う。

(自己評価の公表)

第6条 学校は、共通項目及び学校の実情に応じた評価項目で行った自己評価について、その評価結果、及びその分析に加え、それらを踏まえた今後の改善方策について、学校だより等により公表する。

(学校関係者評価)

第7条 学校は、自己評価の結果を踏まえた学校関係者評価を実施し、その結果の公表に努める。

- 2 学校関係者評価にあたっては、複数の学校関係者による学校関係者評価委員会（学校評議員やPTA、地域住民等の既存の組織を活用することも可）を設置して実施する。
- 3 学校運営協議会を設置している学校は、学校運営協議会で学校関係者評価を実施する。

(市教委への報告)

第8条 学校は、自己評価の結果、及び学校関係者評価を行った場合はその結果を、市教委へ報告書として提出する。

- 2 学校は、市教委への報告を3月中旬までに行う。
- 3 報告書には、学校評価の結果に加えて、それらを踏まえた今後の改善方策等について併せて記載する。

附 則

この要綱は、令和元年5月22日から施行する。

「自己評価」(共通項目)集計結果

柱	No	質問項目	評価(%)				換算平均	改善策として考えられること
			A(4)	B(3)	C(2)	D(1)		
組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。 (※夏季休業期間の変更に伴う教育課程編成の工夫を含む)	25.7%	62.9%	8.6%	2.9%	3.1 B 昨年 3.2 B	・学年による違いもあるので、学校として一体感を出す。 ・教育目標と校訓を取り違えている生徒がいる。違いを意識して生徒に接する。 ・教育目標や重点目標を意識させる機会を作ったり、振り返る場面をつくる。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	28.6%	62.9%	8.6%	0.0%	3.2 B 昨年 3.2 B	・もう少し曜日の変更が少ないと良い。 ・日報から週報に変更して、連絡が簡略化されてわかりやすかった。 ・授業時数確保のため1学期の中間テストをなくす。 ・行事前後や入試日の授業カットを行う。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	25.7%	62.9%	11.4%	0.0%	3.1 B 昨年 3.1 B	・毎朝、保健委員の仕事と合わせて管理できた。 ・養護教諭の先生方がとてもよく動いていただいていた、ありがたい。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	31.4%	60.0%	8.6%	0.0%	3.2 B 昨年 3.3 B	・戸田の件もあり、不審者対応訓練も行う。 ・年に1回、専門の業者に現場をもらう。 ・避難訓練は、様々なパターンで行う。 ・救助袋や防火シャッター、消火栓等の扱い方を年に1度、取り上げる。 ・補修整備はとても早く動いていただいていた、ありがたい。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	28.6%	60.0%	11.4%	0.0%	3.2 B 昨年 3.2 B	・支援員さんに毎日コンテナを出していただきとても助かっています。 ・栄養士さんの授業や給食調理委員さんの話(映像でも良いですが)などがあるとさらに食育につながる。 ・給食の残飯を減らす。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	34.3%	57.1%	8.6%	0.0%	3.3 B 昨年 3.3 B	・何をすべき・どこまで終わったか・このあと何をやるか、などが明確に示されていてわかりやすく、非常に明快な進め方である。 ・実践例を紹介してもらえると、自身の授業の振り返りや今後の授業に活かせる。 ・研修テーマは実態に則して良い。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	48.6%	45.7%	5.7%	0.0%	3.4 A 昨年 3.5 A	・学年の中では、よく打ち合わせをしながら取り組むことができた。 ・教科によって、担当者によって、差がないように連携したい。 ・低学力の生徒に向けて補習や課題などを行い、全体の学力を向上させる。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	37.1%	57.1%	5.7%	0.0%	3.3 B 昨年 3.4 A	・朝霞一中としての総合的な学習の重要ポイントを作る。 ・学年内で計画的に取り組みがされた。 ・地域・施設との連携は少ない。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	25.7%	60.0%	14.3%	0.0%	3.1 B 昨年 3.1 B	・以前に比べて、各学年間で足並みを揃えよう意識している。 ・学年会で方針を確認し、各担任がしっかりと足並みをそろえて進んでいた。 ・教室の環境整備を行う。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	28.6%	57.1%	11.4%	2.9%	3.1 B 昨年 3.1 B	・道徳の授業をやれば不登校生徒がいなくなるわけではないが、道徳はやはり心を育てるために重要。 ・たいへん計画的に取り組んでいた。 ・道徳は内容項目表など作り、全項目行っているか確認するとよい。

* 換算平均は、職員評価のAを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点に換算した平均値をもとに、
A: 3.4以上、 B: 2.6以上3.4未満、 C: 2.0以上2.6未満、 D: 2.0未満 で表記しています。

令和6年 2月14日

学校運営協議会委員各位

朝霞市立朝霞第一中学校
校長 唐松 善人

令和5年度第4回学校運営協議会の開催について

向春の候、貴台におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
また、日頃より本校教育の充実のため格別のご配意を賜っておりますことに、
深く感謝申し上げます。

さて、令和5年度第4回学校運営協議会を下記のとおり開催いたします。

つきましては、ご多用とは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 令和6年 3月29日（金）午後3時00分～
- 2 場 所 朝霞市立朝霞第一中学校 2階特別活動室
- 3 内 容 (1) 学校長あいさつ
(2) 令和6年度学校経営方針について
(3) 意見交換・熟議、懇談
(4) その他